

# 学校運営協議会

令和4年度第2回学校運営協議会

- 開催日時 令和4年12月21日(水) 16:00～17:20
- 開催場所 佐川高等学校 視聴覚室(南校舎3F)
- 出席委員 濱田 陽治(佐川町教育長)  
織田 誠(越知町教育長)  
黒川 一彦(仁淀川町教育長)  
吉岡 優誠(日高村教育長)  
岩本 敏彦(日高村佐川町学校組合教育長)  
馬詰 智子(P T A副会長)  
谷脇(大鳥)愛(地域学校協働活動推進員)  
弘瀬久仁子(地域学校協働活動推進員)  
山田 憲昭(佐川高等学校長)

○会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 報告事項
  - ・令和4年度 学校経営計画中間報告について
  - ・佐川高校魅力推進アンケート結果について
  - ・佐高チャレンジ支援プログラム(案)について
- (4) 協議事項
  - ・スクールミッション、スクールポリシーについて
- (5) 閉会

●報告事項概要

- ・令和4年度学校経営計画中間報告について、2学期までの取組・評価等について説明。現時点での3年生の進路状況について報告。
- ・地域の声を聴くために、近隣7中学校にお願いしていた佐川高校魅力化推進アンケートの結果について説明。
- ・佐高チャレンジ支援プログラム(案)について説明。

●協議及び質問意見概要

- ・魅力化に向けた特徴ある事業や部活動の充実のためには教員の確保が必須である。
- ・入学者を増やすためには、学校の環境を整えることが必要。
- ・すべてのミッションをすべてかなえることはできないので精選する。
- ・自己肯定感が低いといわれているので、高めるために何ができるか。自分と仲間の幸せのために何をすべきかなどは、経営者や活躍されている方の講話を聴くことによって自己啓発する必要がある。
- ・教員の目標なのか生徒の目標なのかがわかるようにするとともに、学びの内容には、課題解決のニュアンスを表現するとよいのでは。
- ・高校は成長の過程であるので学ぶ意義やヒントを与えてほしい。
- ・考える人間でありたいし夢を持って働いていける人間を育てる。
- ・自分の夢が持てる学校であってほしい。教員自身も夢が語れるか、夢を持って子供に教育活動ができていくか。